

# 日本体育・スポーツ経営学会 第41回大会開催要項



1. 会期 2018(平成30)年3月17日(土)～18日(日)
2. 会場 北翔大学 7号棟 722・723教室 〒069-8511 北海道江別市文京台23  
<http://www.hokusho-u.ac.jp/>

## 3. 大会日程

### 3月17日(土)

- 8:30～受付
- 9:30～開会行事
- 9:40～12:00 学生・一般研究発表
- 12:00～13:00 昼食
- 13:00～14:30 基調講演:【経営診断学と体育・スポーツ経営評価】  
講演:首藤 禎史氏(大東文化大学)
- 14:40～17:10 シンポジウム【体育・スポーツ経営評価を問う—よりよいアウトカム評価を求めて—】  
○シンポジスト:河西 邦人氏(札幌学院大学) 公共・地域スポーツの観点から  
佐藤 拓氏(北海道日本ハムファイターズ) プロスポーツの観点から  
川崎 登志喜氏(玉川大学) 学校体育の観点から  
○コーディネーター:永谷 稔氏(北翔大学)
- 17:15～18:00 総会
- 18:30～20:30 懇親会(学会大会優秀発表賞表彰/学会賞・奨励賞の授与)

### 3月18日(日)

- 9:30～11:30 一般研究発表
- 11:30～12:50 ラン知タイムセッション【若手が生み出す体育・スポーツ経営の知識創造】
- 13:00～14:00 特別講演:【札幌市における冬季オリンピック・パラリンピック招致について】※一般聴講可能  
講演:石川 敏也氏(札幌市スポーツ局局长)
- 14:10～16:10 一般研究発表
- 16:15～閉会行事
- ※発表申込件数などによって多少の日程・時間変更がございますので、ご了承下さい。

## 4. 大会テーマと主たる内容

### ①大会テーマ:「体育・スポーツ経営評価を問う」

「よい体育・スポーツ経営とは何か」と問われて正しい答えを導き出すためには、各経営主体にとって「よい」という判断をするための「フィロソフィ」(経営理念、経営思想、哲理、原理)が必要です。と同時に、そうしたフィロソフィに基づく「体育・スポーツ経営評価」(評価基準・規準や評価技術)が強く求められます。前者については、昨年度の第40回学会大会において議論することができました。しかしながら、後者の体育・スポーツ経営評価については、本学会40年の歴史(会報第71号、2017年8月)を振り返ってみても、学校体育経営評価に関する研究知見の蓄積はあるものの、大会テーマとしては設定されてきませんでした。

翻って、体育・スポーツ経営(政策経営も含む)の実践現場に注目してみると、「第2期スポーツ基本計画」(平成29年3月24日)がすでに公表されていますが、平成24年3月30日に策定された「スポーツ基本計画」の政策評価はどのような形で行われたのでしょうか。また、第2期計画の中では「総合型地域スポーツクラブの登録・認証等の制度整備」が具体的施策として掲げられていますが、総合型クラブをどのような観点から誰が評価・診断し登録・認証を行っていくのでしょうか。一方、「ブラック部活動」などと揶揄される学校部活動に「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2)制度を導入することで、顧問教員の過重負担は軽減され、生徒たちは豊かな運動生活を形成・定着させることができる(た)か否かを誰がどのような方法で評価するのでしょうか。さらに、民間スポーツ・フィットネスクラブやプロスポーツ組織などの民間営利組織は採算性や経済性だけを考えておけば、よいスポーツ経営を実践していると言ってもよいのでしょうか。

こうした複雑化する経営評価の問題に対して、体育・スポーツ経営学はどのように対応していくべきなのかについて論究するために、本学会大会の全体テーマとして設定しました。

### ②基調講演:「経営診断学と体育・スポーツ経営評価」

首藤禎史氏は、経営学、特に商業経営論、企業戦略論、経営診断、マーケティングを専攻し、「スポーツ・マーケティングの基礎」の訳者であります。経営学における評価・診断学から、体育・スポーツ経営評価を問う議論へ発展できるものと期待しています。

### ③シンポジウム：「体育・スポーツ経営評価を問う -よりよいアウトカム評価を求めて-

体育・スポーツ経営評価のあり方について、学校体育や地域スポーツ、プロスポーツの現場から、今後どうあるべきなのか、よりよいアウトカム(長期的)評価を求めるべく、経営評価のあり方を問うシンポジウムにしたいと考えます。

### ④特別講演：「札幌市における冬季オリンピック・パラリンピック招致について」※一般聴講可能

札幌市は、2026年開催の冬季オリンピック・パラリンピックの招致プロセスに参加し、IOCと協議を開始しました。札幌開催の意義と招致に向けた活動の現状を中心にご講演いただきます。

### ⑤ラン知タイムセッション：「若手が生み出す体育・スポーツ経営の知識創造」

好評でした若手で考えるセッションを復活します。若手中心に、多くの会員による、体育・スポーツ経営の知識創造を生み出すセッションとなればと考えます。※35歳以下の事前申し込み者、先着50名には昼食を提供します。

## 5. 参加申込

①**申込方法**： 同封の「大会参加申込書(別紙)」に必要事項を記入の上、電子メール、FAX、郵送のいずれかにて、1月31日(水)までに、大会事務局へ提出して下さい。

②**大会参加費**： 正会員 → 6,000円 学生会員 → 3,000円  
臨時一般会員 → 6,000円 臨時学生(院生・学部生)会員 → 4,000円

③**懇親会**： 会費：5,000円(ただし、大学院生と学部学生は3,000円)

④**ラン知タイムセッション**：35歳以下の事前申込者50名には昼食提供、36歳以上昼食提供希望者 → 500円

⑤**振込先**： 大会参加費、懇親会費は、2月16日(金)までに下記にお振込み下さい。  
大会不参加で大会号の送付を希望される方も、同日までに2,000円をお振込み下さい。  
□銀行名：北洋銀行 野幌中央支店(支店番号：496)(口座番号：普通口座 4389830)  
□口座名称：日本体育・スポーツ経営学会第41回大会 代表 永谷 稔  
ニホン タイクススポーツケイエイガクカイ ダイオンジュウイツカイタイカイ ダイヒョウ ナガタニ ミノル

## 6. 研究発表の申込

### ①一般研究発表

□体育・スポーツ経営に関する研究で、完結している研究に限ります。

□発表形式は、口頭発表「発表時間15分、質疑応答5分の合計20分」です。

### ②申込方法など

□**発表資格**：平成29年度会費・大会参加費納入済の正会員・学生会員、大会参加費を納入済みの臨時会員

□**申込方法**：「大会参加申込書(別紙)」に必要事項を記入の上、電子メールか郵送にて1月31日(水)までに大会事務局へ提出して下さい。

□**大会号原稿**：研究概要を「学会大会号原稿作成要領(別紙)」に従って作成し、2月16日(金)までに大会事務局に提出してください。上記期日までに「必着」をお願いします。

□**発表資料など**：発表補足資料は、100部用意し、発表30分前までに発表会場受付に提出してください。  
発表は、パワーポイント(Office 2016 for Win)が使用可能です。

□**学会大会優秀発表賞**：「学会大会優秀発表賞(詳細別紙)」応募する学生会員は、申込書にてエントリーのこと。

### ③大会までのスケジュールと会費等一覧

□大会までのタイムライン

事項	締め切り期日
大会参加申込	<u>1月31日(水)</u>
学会発表申込	
大会号送付申込	
大会号原稿提出	<u>2月16日(金)</u>
大会参加費納入	
懇親会費納入	
大会号のみ購入費納入	

□会費等一覧

大会参加費	正会員	6,000円
	学生会員	3,000円
	臨時一般会員	6,000円
	臨時学生会員	4,000円
大会号のみ購入：送付希望者		2,000円
懇親会費	一般	5,000円
	学生	3,000円
36歳以上ラン知タイムセッション昼食希望者		500円

## 7. その他

①会場までのアクセスは、<http://www.hokusho-u.ac.jp/> をご参照下さい。キャンパス内は車で入構可能です。

②所属長宛の派遣依頼が必要な方で、公印が押印してあるものが必要な場合は、お申し付け下さい。

第41回学会大会事務局：〒069-8511 北海道江別市文京台23 北翔大学 永谷 稔

E-mail : [nagatani@hokusho-u.ac.jp](mailto:nagatani@hokusho-u.ac.jp) TEL・FAX : 011-387-3794 永谷研究室直通